

愛知県における
地域日本語教育体制整備事業
について

愛知県多文化共生推進室
(あいち地域日本語教育推進センター)

目次

- 1 外国人県民の現状
- 2 愛知県のこれまでの取組
- 3 愛知県における地域日本語教育体制整備事業について
- 4 2020年度の成果と課題
- 5 今後の取組目標
- 6 2021年度の実施計画
- 7 本日も検討いただきたいこと

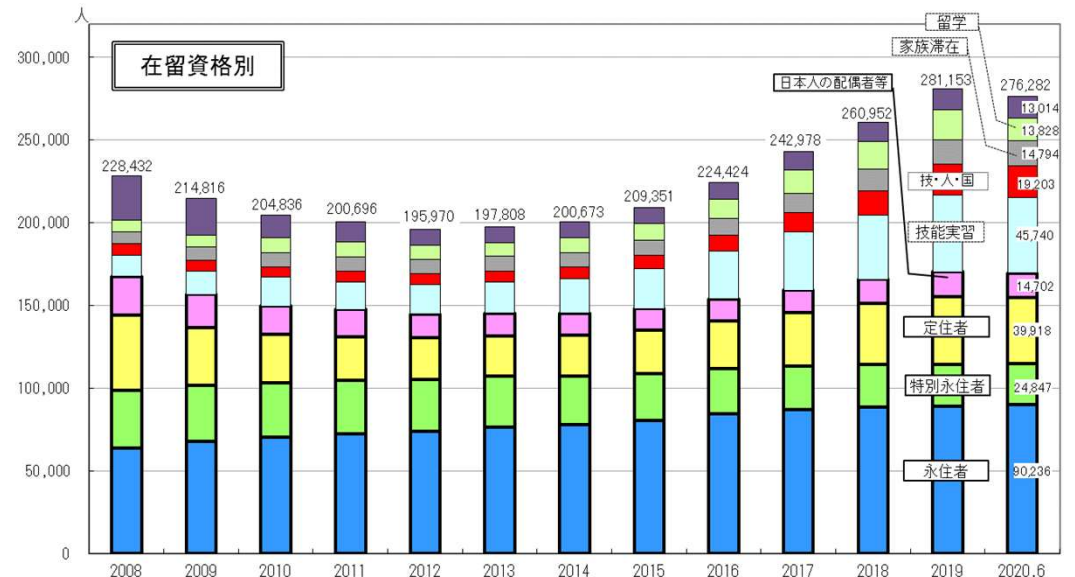
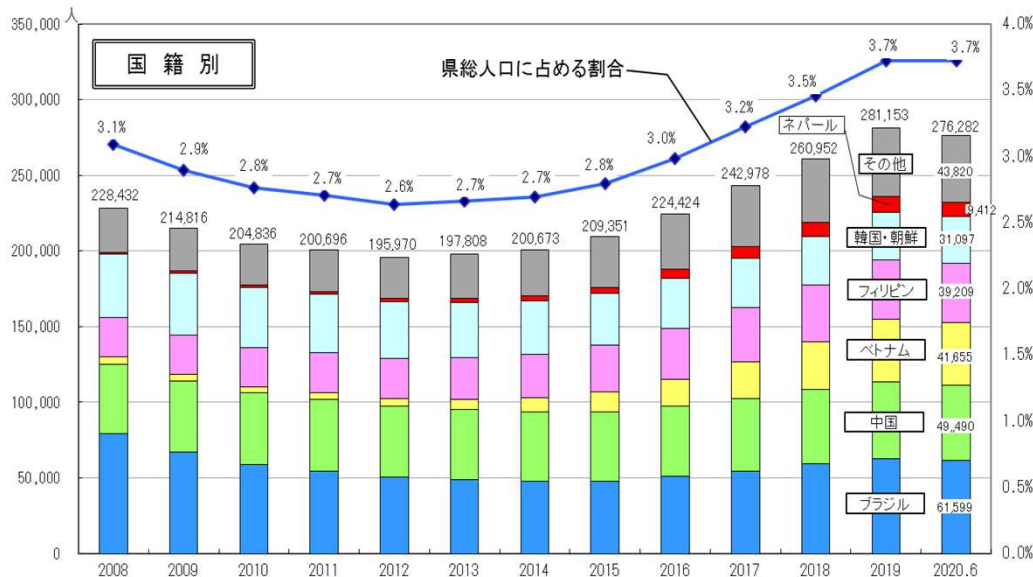
1 外国人県民の現状

■ 愛知県の外国人県民数

- ・ 2020年6月末現在の愛知県内の外国人住民数は、**276,282人**。
(2019年12月末の外国人住民数に比べ4,871人減少。)
- ・ 県内総人口(7,549,194人(2020年7月1日現在))に占める外国人住民数の割合は、**約3.7%**。

■ 国籍別の状況

- ・ 国籍(出身地)別に見ると、**ブラジル**が61,599人で、**全体の22.3%**を占め、中国49,490人(17.9%)、ベトナム41,655人(15.1%)、フィリピン39,209人(14.2%)、韓国・朝鮮31,097人(11.3%)と続く。
- ・ **上位5か国で全体の8割**を超える。

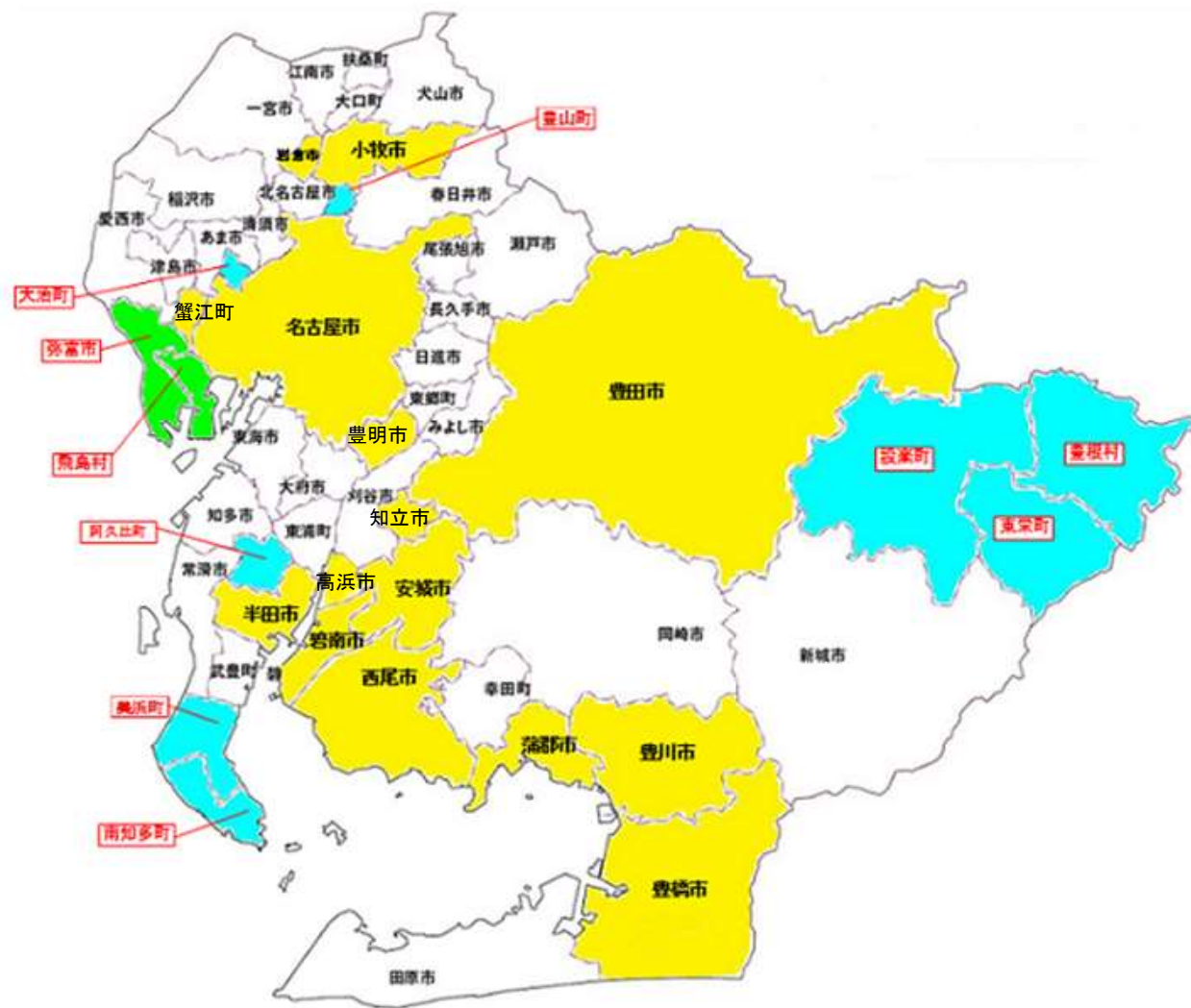


■ 県内市町村の状況 (54市町村)

- ・ 人口(2020.7.1) 7,549,194人
- ・ 外国人住民数(2020.6.30) 276,282人
- ・ 外国人住民割合 3.662%
- ・ **日本語教室 191教室**
((公財)愛知県国際交流協会の2020年度の調査による)

【凡例】

- ・ **黄** →外国人住民比率が県平均(約3.7%)より高い市町村
- ・ **青色** →日本語教室が無い市町村
(**10市町村**)
- ・ **緑色** →日本語教室が無い市町村のうち、外国人住民比率が県平均(約3.7%)より高い市町村



■ 県内市町村の状況

	市町村名	人口(2020.7.1)	外国人住民数 (2020.6.30)	外国人住民割合	日本語教室 (2020年度)		市町村名	人口(2020.7.1)	外国人住民数 (2020.6.30)	外国人住民割合	日本語教室 (2020年度)
1	名古屋市	2,330,048人	86,706人	3.72%	39	28	岩倉市	47,980人	2,762人	5.76%	1
2	豊橋市	372,482人	19,434人	5.22%	16	29	豊明市	69,583人	3,459人	4.97%	6
3	岡崎市	386,110人	12,624人	3.27%	5	30	日進市	92,542人	1,768人	1.91%	2
4	一宮市	379,193人	6,971人	1.84%	4	31	田原市	59,550人	1,673人	2.81%	3
5	瀬戸市	127,489人	4,366人	3.42%	4	32	愛西市	61,068人	1,034人	1.69%	1
6	半田市	118,029人	4,535人	3.84%	4	33	清須市	69,845人	1,875人	2.68%	1
7	春日井市	306,816人	8,023人	2.61%	5	34	北名古屋	86,007人	2,078人	2.42%	2
8	豊川市	184,036人	7,024人	3.82%	4	35	弥富市	43,204人	2,068人	4.79%	-
9	津島市	61,216人	1,735人	2.83%	3	36	みよし市	62,794人	2,256人	3.59%	2
10	碧南市	72,889人	5,656人	7.76%	4	37	あま市	87,569人	2,480人	2.83%	2
11	刈谷市	153,815人	5,286人	3.44%	7	38	長久手市	62,152人	1,193人	1.92%	2
12	豊田市	424,301人	18,811人	4.43%	18	39	東郷町	44,119人	1,422人	3.22%	1
13	安城市	189,071人	8,008人	4.24%	6	40	豊山町	15,672人	529人	3.38%	-
14	西尾市	169,403人	10,200人	6.02%	3	41	大口町	24,239人	672人	2.77%	1
15	蒲郡市	79,613人	3,313人	4.16%	4	42	扶桑町	34,224人	562人	1.64%	1
16	犬山市	73,130人	2,508人	3.43%	5	43	大治町	32,462人	807人	2.49%	-
17	常滑市	57,885人	1,499人	2.59%	- (準備中)	44	蟹江町	36,990人	1,609人	4.35%	2
18	江南市	97,787人	2,098人	2.15%	4	45	飛島村	4,623人	385人	8.33%	-
19	小牧市	148,395人	10,241人	6.90%	6	46	阿久比町	28,232人	455人	1.61%	-
20	稲沢市	135,121人	3,534人	2.62%	2	47	東浦町	49,096人	1,551人	3.16%	2
21	新城市	43,993人	1,042人	2.37%	2	48	南知多町	16,917人	466人	2.75%	-
22	東海市	113,585人	2,187人	1.93%	3	49	美浜町	22,535人	337人	1.50%	-
23	大府市	92,481人	3,094人	3.35%	3	50	武豊町	43,116人	1,260人	2.92%	2
24	知多市	84,107人	2,243人	2.67%	4	54	幸田町	42,388人	1,315人	3.10%	1
25	知立市	71,983人	5,449人	7.57%	3	52	設楽町	4,446人	30人	0.67%	-
26	尾張旭市	82,066人	1,494人	1.82%	1	53	東栄町	2,969人	18人	0.61%	-
27	高浜市	48,820人	4,117人	8.43%	-(2020～休校)	54	豊根村	1,008人	18人	1.79%	-

2 愛知県のこれまでの取組

2014年2月策定

「愛知県 多文化共生社会に向けた地域における日本語教育推進のあり方」

目指す姿

- 外国人県民が、日本語や日本社会の知識を身につけたり、互いの文化的背景や考え方を理解したりすることで、地域社会に参画し活躍できる社会
- その環境が整備されている状態

趣旨

「地域における日本語教育」に関する本県の基本的な考え方を整理。
行政（国、愛知県、市町村）、国際交流協会、日本語教室日本語教師養成機関など日本語教育に関わる様々な主体の役割を整理。

2 愛知県のこれまでの取組

2014年2月策定

「愛知県 多文化共生社会に向けた地域における日本語教育推進のあり方」

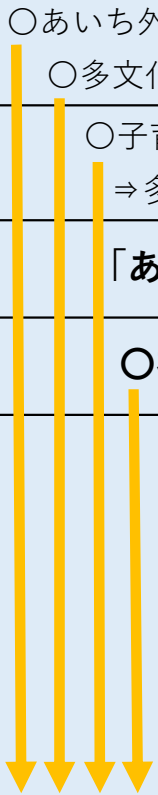
概要

項目	内容（一部抜粋・要約）
対象	<u>学習機会が保障されていない</u> 外国人県民
手法	<u>コミュニケーション</u> によって日本語の力を身に付ける
役割	国 <u>地方自治体</u> への <u>財政支援</u> を行うことが求められる。
	県 <u>市町村</u> の日本語教育の取組をさらに <u>発展</u> させるために、 <u>市町村との協力体制</u> を整える。 <u>市町村</u> の日本語教育の取組が進むよう <u>支援</u> する。
	市町村 <u>日本語教室の設置・運営</u> をすることが求められる。 市町村内外の人材（専門家等）等を活用し提供することが求められる。
県内の日本語教育に関する主体が「 オール愛知 」の体制で取り組む	

2 愛知県のこれまでの取組

年度	愛知県の取組					
～2013	「愛知県 多文化共生社会に向けた地域における日本語教育推進のあり方」策定					
2015	○あいち外国人の日本語教育推進会議 ○多文化共生日本語スピーチコンテスト					
2016	○子育て外国人の日本語習得モデル事業 ⇒多文化子育てサークル事業（2017年度～） ⇒多文化子育てサロン事業（2018年度～）					
2017	「あいち多文化共生推進プラン2022 ～あいちの多文化共生をデザインする～」策定					
2018	○初期日本語教育モデル事業（文化庁委託事業）					
2019	「日本語教育の推進に関する法律」(2019年6月公布・施行)					
	○基本理念 外国人等に対し、希望に応じて、置かれている状況及び能力に応じた日本語教育を受ける機会の最大限の確保 等					
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #f4a460; text-align: center;">○国の責務</td> <td style="background-color: #f4a460; text-align: center;">○地方自治体の責務</td> </tr> <tr> <td>日本語教育の推進に関する施策を総合的に策定し、実施</td> <td>地域日本語教育の推進に関し、地域の実情に応じた施策を策定し、実施</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="background-color: #fff9c4; text-align: center;">地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業（文化庁）</td> </tr> </table>	○国の責務	○地方自治体の責務	日本語教育の推進に関する施策を総合的に策定し、実施	地域日本語教育の推進に関し、地域の実情に応じた施策を策定し、実施	地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業（文化庁）
○国の責務	○地方自治体の責務					
日本語教育の推進に関する施策を総合的に策定し、実施	地域日本語教育の推進に関し、地域の実情に応じた施策を策定し、実施					
地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業（文化庁）						
2020	○愛知県における地域日本語教育推進体制整備事業（あいち地域日本語教育推進センター設置）					

・ライフサイクルに応じた支援
・言語習得に対する支援の充実



3 愛知県における地域日本語教育体制整備事業について

(参考3) 事前協議内容
1 「教育保障の対象者と時間数について」

(1) これまでの取組から進展した視点

県内全域において、社会インフラとしての地域日本語教育の場を実現する

(2) 体制整備事業での取組の整理

取組の4つの柱

I モデル事業・リソース開発

- ・地域日本語教育の先進的な事業をモデル的に実施
- ・人材養成カリキュラムや学習教材等必要なリソースの開発

II 課題解決支援・普及・人材育成

- ・地域日本語教育の各事業の普及促進
- ・実施における課題解決の支援及び人材育成の実施

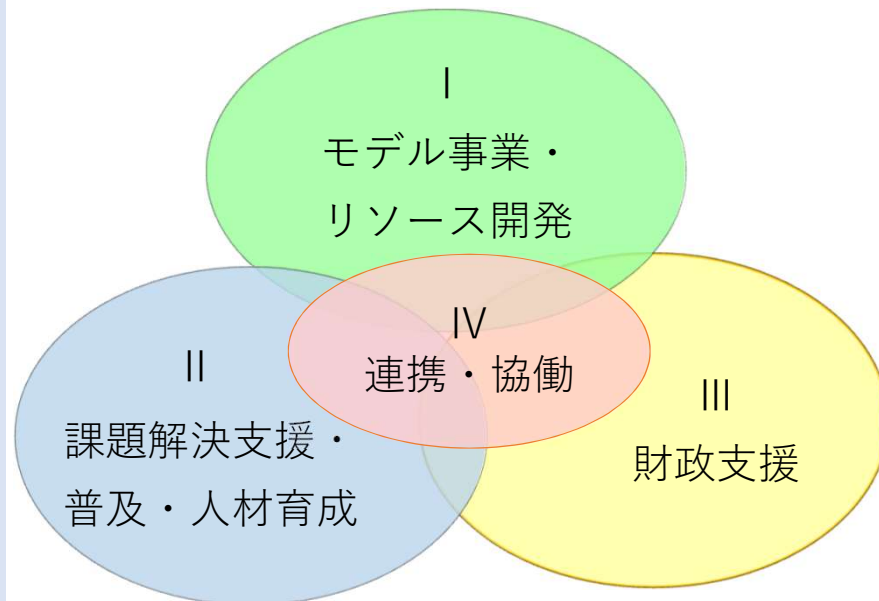
III 財政支援

- ・市町村等による取組に対して継続的な支援を実施

IV 連携・協働

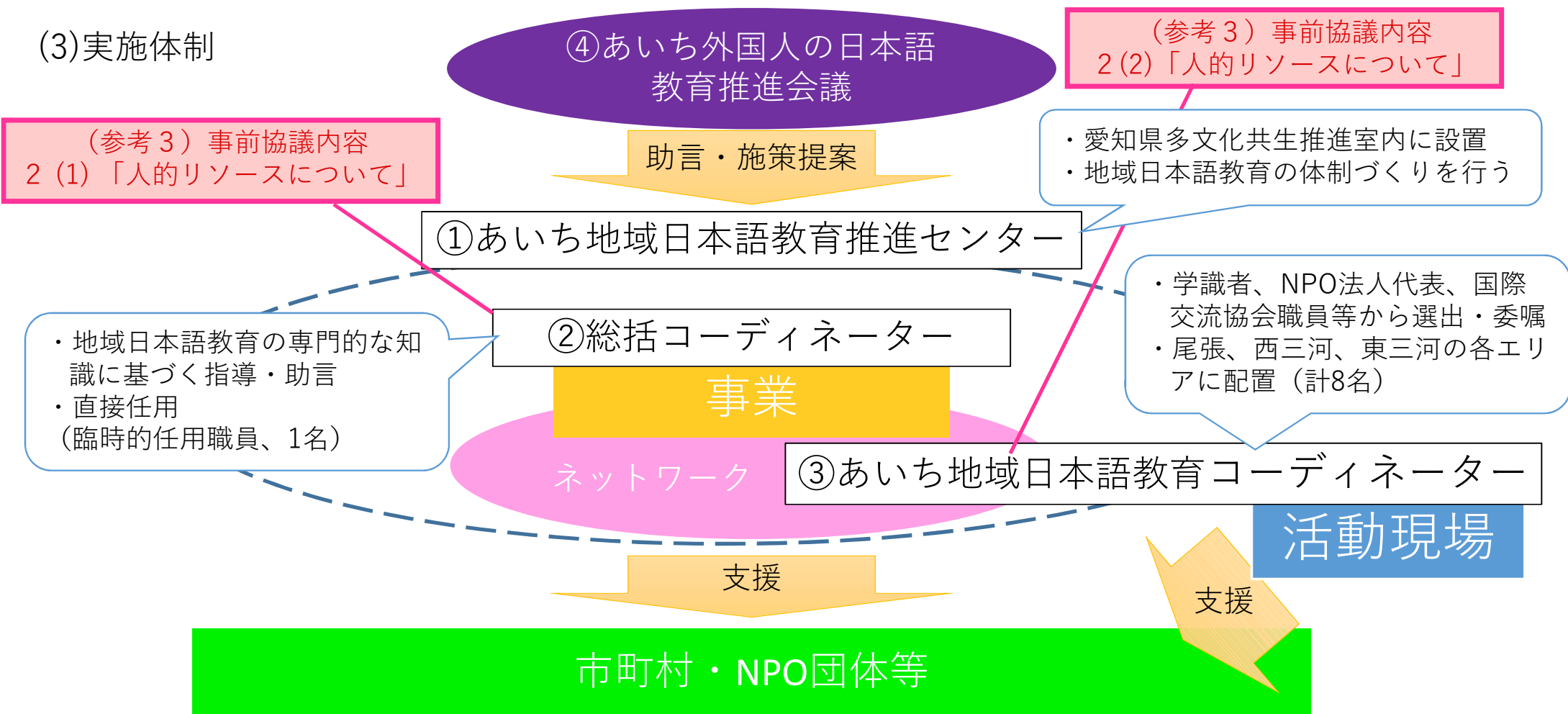
- ・各主体が情報共有・意見交換するための体制を整備

〈取組の柱の関連イメージ〉



3 愛知県における地域日本語教育体制整備事業について

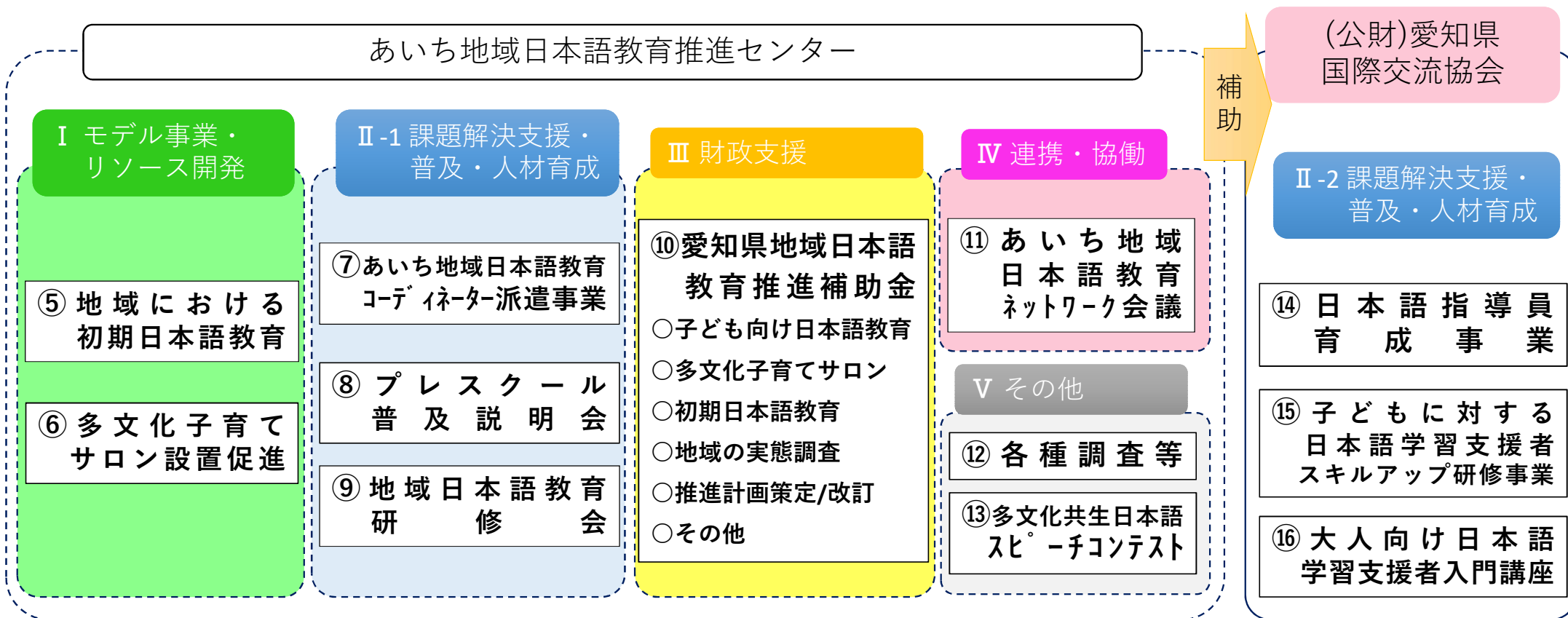
(3)実施体制



※丸数字は参考資料の事業一覧の通し番号と同一

3 愛知県における地域日本語教育体制整備事業について

(4)個別事業一覧



※丸数字は参考資料の事業一覧の通し番号と同一

3 愛知県における地域日本語教育体制整備事業について

(5)実施計画期間 2020年4月から2025年3月まで（5年間）

〈スケジュール〉

年度		取組内容	相互反映	あいち多文化共生推進プラン等との関連
2020年度	(1年目)	・あいち地域日本語教育推進センター設置による事業実施体制の構築		
2021年度	(2年目)	・各事業実施		・次期「あいち多文化共生推進プラン」策定に向けた調査 ・「多文化共生社会に向けた地域における日本語教育推進のあり方」の改訂
2022年度	(3年目)	・中間評価		・次期「あいち多文化共生推進プラン」策定に向けた検討
2023年度	(4年目)	・各事業実施		・次期「あいち多文化共生推進プラン」開始
2024年度	(5年目)	・最終評価 ・次期実施計画の検討		

3 愛知県における地域日本語教育体制整備事業について

(6) 2020年度実施状況

総事業費 28,714千円

※事業名は省略して表示
※2020年度当初予算額

②総括コーディネーター設置

(5,641千円) 1名 **新規**

④あいち外国人の日本語教育推進会議

(394千円) 年1回 **新規**

(公財)愛知県
国際交流協会

I モデル事業・ リソース開発

⑤地域における初期
日本語教育

(2,776千円)
開催市：蒲郡市
初期日本語教室：
計55時間
第1期21名、第2期12名
指導者養成講座：
計30時間、28人修了
フォローアップ研修：
2回、延べ15名参加

⑥サロン設置促進

(3,741千円)
開催市：豊田市(オンライン)
○サロン実施：全7回、
延べ46組、105名参加
(第6回実施時点)

II-1 課題解決支援・ 普及・人材育成

⑦あいち地域日本語教育
コーディネーター派遣事業

(1,286千円) **新規**
派遣先：8団体
派遣回数：20回
延べ派遣人数：28名
コーディネーター全体会：3回開催

⑧フレスクール普及促進

(162千円)
開催回数：3回
延べ参加人数：延べ47人

⑨地域日本語教育研修会

(32千円) **新規**
開催回数：4回
延べ参加人数：35人
(第3回実施時点)

III 財政支援

⑩愛知県地域日本語
教育推進補助金

(11,536千円) **新規**
交付先：11団体
○子ども向け 6市町村
○サロン 2市町
○初期日本語教育
1市町、1国際交流協会
○地域の実態調査 なし
○計画策定/改訂 1市
○その他 2市

IV 連携・協働

⑪ネットワーク会議

(130千円) **新規**
開催数：年2回
出席人数：①25名②18名

V その他

⑫各種調査等

(200千円)
○外国人学校の調査
調査数：16校

⑬スピーチコンテスト

(890千円)
応募者：57名
高校生以上一般の部新設

II-2 課題解決支援・ 普及・人材育成

⑭日本語指導員育成事業

(1,298千円)
○豊田市開催
計3回、延べ参加者数58名
○武豊町開催
計3回、延べ参加者数62名

⑮支援者スキルアップ研修

(208千円)
開催回数：2回
参加人数：32名

⑯大人向け支援者入門講座

(420千円)
開催数：全9回
参加人数：20名

4 2020年度の成果と課題

(参考3) 事前協議内容
3 「モデル事業の継続に向けた支援について」

	成果	課題	2021年度の取組
<p>I モデル事業・リソース開発</p> <p>⑤初期日本語教育 ⑥サロン設置促進</p>	<p>○モデル事業を計画通りに実施し、モデルの確立に寄与</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>オンラインでの開催の可能性を提示</u> ・実施モデルとして展開できるように<u>ノウハウを蓄積、課題を整理</u> 	<p>○モデル事業の定着に向けた取組、および新規実施市町村の開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催市での定着に向けて、<u>実施年度以降の継続的な実施につなげるためのしかけ</u> ・主催する<u>団体の掘り起こしや市町村の巻き込み</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年度開催市を事前（2020年度内）に募集、選定したうえでモデル事業を実施 ・初期日本語教育モデル事業で開催市との連携強化

	成果	課題	2021年度の取組
<p>II 課題解決支援・普及・人材育成</p> <p>⑦コーディネーター派遣 ⑧プレスクール普及促進 ⑨地域日本語教育研修会</p>	<p>○あいち地域日本語教育コーディネーターとの関係作り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣事業の全体調整会議において、<u>派遣事業以外での活動可能性を議論</u> 	<p>○事業間の連携の強化、および、事業効果の最大化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>派遣事業の目的の再設定</u> ・<u>事業間の連携を考慮した事業スケジュール</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・あいち地域日本語教育コーディネーター派遣事業の成果報告会を県内各地域で実施 ・体制整備事業の市町村向け説明会の実施

(参考3) 事前協議内容
2(2) 「人的リソースの活用について」

4 2020年度の成果と課題

	成果	課題	2021年度の取組
Ⅲ 財政支援 ⑩地域日本語教育 推進補助金	○市町村の 取組の把握と主体意識の醸成 ・市町村が主催する学習の場の提供を支援 ・申請の手続きの過程で、 <u>市町村の取組計画と結果を把握</u>	○市町村の取組に対して 学習の質の向上・質の担保を図る取組 ・市町村が実施する取組に関する <u>具体的な方針の提示</u>	・あいち地域日本語教育コーディネーターによる視察 ・補助メニュー及び要綱の見直し
	(参考3) 事前協議内容 4(1)(2)「子ども向け事業について」		
	成果	課題	2021年度の取組
Ⅳ 連携・協働 ⑪ネットワーク会議	○ センター事業全体での支援を実施 ・あいち地域日本語教育コーディネーターの提案により、 <u>派遣事業から初期日本語の見学へ誘導</u>	○地域日本語教育関係団体の 連携・協働を促進する取組 ○ 人材の活用 ・地域日本語教育関係者の <u>掘り起こしにつながる取組</u> ・(公財)愛知県国際交流協会事業と <u>センター事業との関連</u>	・あいち地域日本語教育コーディネーターと連携したネットワーク会議の実施 ・県内各地域でのネットワーク会議の実施 ・ 県教育委員会との連携・協働(外国人県民の子どもたちのためのプロジェクトチームによる連携・協働)

5 今後の取組目標

(参考3) 事前協議内容

- 5 「オンラインを活用した取組について」
- 6 「企業と連携した取組について」

(参考3) 事前協議内容

- 7 「計画期間後の実施について」
- 8 「空白地域の解消について」

短期・中期的な目標

関係主体の位置づけの明確化

愛知県における地域日本語教育の体制整備の視点から、**関係主体の位置づけを明確化**する

実情把握と支援の充実

モデル事業を県内に広く普及、定着させるため、市町村の**実情把握**に努めるとともに**事業実施に必要な支援を充実**させる

事業間の連携の強化

地域日本語教育の体制整備に向けて、センター事業を効果的に実施するため、**事業間の連携**をはかる

関係主体の効果的な連携・協働

あいち地域日本語教育コーディネーターと協力のうえ、**関係主体の効果的な連携・協働**につながるような取組を行う

長期的・継続的な目標

- 市町村に対して、**愛知県における地域日本語教育の体制および内容のモデル**（あいち地域日本語教育モデル）を示す
- あいち地域日本語教育モデルを担う**人材の育成カリキュラムの開発と育成した人材を活用するための仕組み**を検討する
- 文化庁の体制整備事業の実施計画期間終了後も愛知県内の地域日本語教育の取組が持続するよう、**センターが担っている機能の継続方法**を検討する

6 2021年度の実施計画

(参考3) 事前協議内容
 1 「教育保障の対象者について」
 5 「オンラインを活用した取組について」
 6 「企業と連携した取組について」

※2021年度当初予算案

(1) 2021年度実施計画

総事業費 33,050千円

⑩地域日本語教育の総合的な
推進計画策定
(2,422千円) 検討会議年5回

②総括コーディネーター設置
(4,902千円) 1名

④あいち外国人の日本語
教育推進会議
(222千円) 年1回

I モデル事業・ リソース開発

⑤地域における初期
日本語教育

(1,509千円)
 開催市：岩倉市
 初期日本語教室：
 24時間×2期、計48時間
 指導者養成講座：
 計30時間
 フォローアップ研修：
 一宮市、刈谷市、蒲郡市
 各5時間

⑥サロン設置促進

(2,944千円)
 開催市：
 豊田市、大府市、半田市
 各箇所6回以上

II-1 課題解決支援・ 普及・人材育成

⑦あいち地域日本語教育
コーディネーター派遣事業

(2,019千円)
 派遣先・回数：8団体程度
 コーディネーター全体会：
 3回開催（県内3箇所）
 成果報告会：
 3回（県内3箇所）

⑧フレスクール普及促進

(91千円)
 県内2箇所
 開催回数：2回

⑨地域日本語教育研修会

(32千円)
 開催回数：4回

III 財政支援

⑩地域日本語教育
推進補助金

(16,379千円)
 申請予定団体：21団体
 ○子ども向け
 9市町村、2協会
 ○サロン 4市町、1協会
 ○初期日本語教育
 6市町、2協会
 ○地域の実態調査 1市
 ○計画策定/改訂 1市
 ○その他 2市、1協会

IV 連携・協働

⑪ネットワーク会議

(249千円)
 開催回数：年3回
 県内3箇所、各1回

V その他

⑫各種調査等

(103千円)
 ○外国人学校の調査

⑬スピーチコンテスト

(673千円)
 応募者見込70名

(公財)愛知県
国際交流協会

II-2 課題解決支援・ 普及・人材育成

⑭日本語指導員育成事業

(1,245千円)
 県内2箇所
 各箇所計11時間

⑮支援者スキルアップ研修

(260千円)
 開催回数：2回
 県内1箇所、オンライン

(2) 実施スケジュール

あいち外国人の日本語教育推進会議による検討

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	推進計画				○推進計画 検討会議①	○推進計画 検討会議②	○推進計画 検討会議③	○推進計画 検討会議④	○推進計画 検討会議⑤				
I	モデル事業・ リソース開発				○運営委員会①		○地域における初期日本語教育モデル事業 ○運営委員会②					○運営委員会③	
													○多文化子育て カン普及啓発事業
II	課題解決支援・ 普及・人材育成				○全体会①	○地域日本語教育コーディネーター派遣事業 ○全体会②	○全体会③						○成果報告会③
						○成果報告会①	○成果報告会②						
III	財政支援		○愛知県地域日本語教育推進補助金 交付決定・各団体において事業開始				○補助事業先視察						
IV	連携・協働				○研修会①		○研修会②	○研修会③			○研修会④		
							○ネットワーク 会議①	○ネットワーク 会議②	○ネットワーク 会議③				

7 本日も議論いただきたいこと

- (1) 体制整備事業として効果的に実施するために必要な視点
- (2) あいちの地域日本語教育の未来像